

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

4月27日（土）

- 1 時間目 授業参観
 - 2 時間目 P T A 総会、移転説明会
 - 3 時間目 学級懇談会
 - 4 時間目 集合訓練（保護者に引き渡し訓練）
- 午後は、必要に応じての個人面談でした。

慌ただしい感じでしたが、昨年から計画し、父親も含めて多くの方が参加できることで検討してきました。家族としては7家族がこれなかったのですが、父親も参加していただいたために、110名程度の総会参加と移転説明会参加でした。ありがとうございました。

移転説明会も、事前にお聞きしたいことをそのまま、中委員長にお見せし、話の中に盛り込んでいただきました。それでも心配はあると思います。吉田事務局長が最後に話をしたように、中委員長でも吉田事務局長、P T A 役員にお伝えください。学校は学校として、運営委員会の枠組みで具体的に動いていきます。

集合訓練はいかがだったでしょうか？臨場感はありません。それは、地震や火災も同じです。実際に想定されるのは、テロや暴動、地震、自然災害など、私達の力ではコントロールできないことが多くあるでしょう。中学生の何人かに話しました。「実際、起きたときは、小学校低学年は泣き叫ぶ子がいるかもしれない。そのときは頼むな」私の話を聞いた子は、みんなうなずいていました。

私の小1の体験を話しました。小学校には、1500人の子どもがいて、避難先に半分しかこなかったという事実。迎えにくるのが夕方になり、他の子どもが10人くらいしかいないという事実。小1の私には強烈に太陽のまぶしさとどのかわきの印象が残っています。

言うのを忘れました。教頭先生が朝とそして10時45分に放送するために、チャイムをいれました。朝は、階の上の方から「シッ」10時45分には、小3から「シッ」という音が聞こえてきました。この注目の仕方、この働きかけ素晴らしい。

5月1日（水）

高雄師範大学附属小学校の先生方が授業参観の研修にきました。これは、子どもたちとの交流があり、それぞれ顔見知りです。台湾の先生方は、日本の教育に興味を持ち、私達

も、台湾の教育に興味を持ちということで実現しました。

5 時間目の参観です、1 年生は、国語。2 年生は、算数。3 年生は、習字。4 年生は算数でした。それぞれ、10 分ほどの見学でした。5 年生以上は、プール清掃をしていたので、参観というわけにもいかず、だったのですが、プール清掃の前に挨拶をしていたのに興味を持っていました。

1 年生では、「なんですか?」「なにをしていますか?」などのやりとりを国語の教科書を利用しながらやっていました。入学して、子ども達が隣同士で相談したり、やりとりをしたり、というのがよほど珍しかったようです。2 年生では、算数で $37 + 28$ をどのように計算するかをやっていました。マグネットを使って、視覚的に理解させようとしていました。ロッカーにある算数セットに興味をもっていました。また、3 年生では習字をやっていました。1, 2 年生では硬筆ですので、筆を使ったのは初めてということで、くるくる○の連続、点などを描いていました。台湾では、習字は無駄ということになって授業では今は実質やっていないようです。ですが、どこの学校に行っても必要だという声が聞こえます。

4 年生の算数では、黒板に問題を先生が書いたのを写す場面でした。ノートをみて驚いていました。子どもが同じノートを使っていて、同じように書いていると驚いています。私は、先生方は、ノートと同じように黒板に書きます。(そこで、日本のノート文化の象徴として、「東大生のノートは美しい」という数冊のノートをとった本をあとで提示しました。台湾では、ノートをとる習慣はあまりなく、教科書に直接記入することが多いようです。教科書のつくりもそうになっています。)

5月2日(木)

2 年生の教室に行きました。ちょうど算数のテストをしていました。1 時間は何分? 1 日は何時間? とか、時計が出ていて午前何時何分と答える問題です。もちろん学校でも学習しますが、日常的に家でも「今、何時?」「9 時にお出かけするけど、あと何分とか?」日常生活で使ってください。私は、子どもが小さいときはデジタル時計は使いませんでした。まずは、長い針は? から始まって、何時何分、あと、何分などのようにしていきました。幼稚園の途中では子ども二人とも時間の観念はついていたと記憶しています。子どもの学習環境は、学校だけではないのです。以前にもお話をしたことがありますが、説明的に子どもに接することで、論理的な思考力もつきます。「おとうさんは、悲しかったよ(うれしかったよ)」などでも感情が育ちます。「あなたは、こんなことをしてしまったけど、〇〇さんはどうおもったかな?」なんて会話も相手意識が育ちます。

清掃があと 5 分で終わるというところで、「これから清掃を始めます」という放送がながれました。そこで、放送室の前で清掃をしていた小学 2 年生、「えー、もう、掃除が終わる時間だよ」と放送担当の先輩達に口々に。放送委員は、言い直しをしていました。小 2 の時刻・時間の学習が役立った? 場面でした。

4月30日は、小学部5年の宿泊研修の下見に教頭先生と中村先生が一日出かけました。すでに、春休みには本田先生（昨年の担当ということで、準備をできるところまで）と教頭先生が行ったのですが、中村先生は、まだ、日本。今回は、こまかな打ち合わせをしてきたと報告がありました。

5月1日は、私は、中2の夏休み明けから編入学予定の保護者が来校するというので、その手続きに来ていました。中学部全員で野外活動の準備で相手の学校に行ったり、サイクリングの場所を確認したり、安全と打ち合わせに行ってきました。私自身は2時間くらいしか学校にいませんでしたが、澁谷先生も小3の授業で学校周辺の調査に出かけ、子ども達が安全に、かつ、しっかり理解できるように準備をしていました。高堀先生も調理実習の準備でスーパーに買い物やら家庭科室で活動をしていました。

普段の日には、まとめて準備ができないために、休みの日にまとめて準備をすることもあります。当然、家や別な時間帯で準備をしている職員も多数です。（と、いやらしくない程度に紹介を試みました。）